

## 2025年度医療保健学部医療技術学科「実務経験のある教員による授業科目」

科目名	教員氏名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
血液検査学Ⅰ	關谷 暁子	1	2025年度 後期	必修	講義	1	大学病院臨床検査部での臨床検査技師の実務と教育に携わった経験を持つ教員が、血液学的検査の基礎から応用について講義と双方向授業を行う。
血液検査学Ⅱ	關谷 暁子	2	2025年度 後期	必修	講義	1	病院臨床検査部での臨床検査技師の実務と教育に携わった経験を持つ教員が、血液学的検査の基礎から応用について実習し双方向授業を行う。
食べ物と健康	櫻井 千佳	2	2025年度 前期	必修	講義	1	実務経験関連 病院栄養管理部での管理栄養士の実務と教育に携わった経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
臨床栄養学総論	櫻井 千佳	3	2025年度 前期	選択	講義	1	病院栄養管理部での管理栄養士の実務と教育に携わった経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
臨床検査学基礎演習	油野 友二	2	2025年度 後期	選択	講義	1	臨床検査技師としての業務に携わった経験を豊富にもつ教員が、医療関連業務を遂行するために必要な基本的知識・技術について講義する。
臨床一般検査学	油野 友二	1	2025年度 前期	必修	講義	1	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
検査診断学Ⅰ	油野 友二	1	2025年度 前期	必修	講義	2	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
地域チーム医療論	油野 友二	4	2025年度 後期	必修	演習	1	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
臨床医学総論Ⅰ	油野 友二	3	2025年度 前期	選択	講義	2	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
臨床医学総論Ⅱ	油野 友二	3	2025年度 後期	選択	講義	2	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
検査診断学Ⅱ	油野 友二	3	2025年度 前期	必修	講義	2	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
検査診断学Ⅲ	油野 友二	4	2025年度 後期	必修	演習	2	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
技能修得到達度評価（臨床検査学）	油野 友二	3	2025年度 後期	必修	実習	1	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
臨床検査学演習	油野 友二	4	2025年度 後期	必修	演習	2	臨床検査技師業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
医用機器安全管理学Ⅰ	五十嵐 茂幸	3	2025年度 前期	選択	講義	2	臨床工学技士医療機器管理業務に勤務した経験及び認定資格を有する立場から、院内の安全管理システムを事例を交えながら教示する。
日本史	福江 充	1	2025年度 後期	選択	講義	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
解剖組織学	二ノ倉 欣久	1	2025年度 前期	必修	講義	2	臨床経験を有する教員による、臨床的トピックと関連づけた講義が行われる。 解剖組織学実習や病理学との連携を念頭に置きながら講義が行われる。
生理機能学	二ノ倉 欣久	1	2025年度 前期	必修	講義	2	臨床経験を有する教員による、臨床的トピックと関連づけた講義が行われる。 解剖組織学や病理学との連携を念頭に置きながら講義が行われる。
生理機能学演習	二ノ倉 欣久	1	2025年度 後期	必修	演習	1	実際の臨床経験を有する教員が担当している。このことで、臨床上遭遇しうるイベントを想定した講義や臨床との関連を強調されることになる。
専門職連携演習	二ノ倉 欣久	3	2025年度 後期	必修	演習	1	診療機関での専門職連携の実務経験を持つ教員が担当し、臨床での具体的事例や場面を交え授業を行う。
認知症の病態と検査	二ノ倉 欣久	3	2025年度 前期	選択	講義	1	神経心理検査の臨床経験を有する教員が講義を実施することで、認知症の病態と検査が具体的にイメージできる
生体機能代行装置学Ⅰ	藤井 義也	2	2025年度 前期	必修	講義	2	臨床工学技士、臨床検査技師として透析室、検査室に勤務した経験および医療機器管理の経験を活用し授業を展開する。
生命・医療倫理学	東風 安生	1	2025年度 後期	必修	講義	1	学校現場の教師として、学校医や看護師との交流も多く、伝染病や外科的なケガ、交通事故などでの対応については冷静さ的確な判断が求められた。また防疫や健康促進などによりよく生きるためのウェルビーイングの考え方を家庭や地域と共に実践してきた経験を講義と途中に分かりやすく加えていく。
情報リテラシー	長原 三輝雄	1	2025年度 前期	必修	講義	1	本科目は全学部共通カリキュラムとして開講されている。 医療技術学科の担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。 また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
データサイエンス	長原 三輝雄	1	2025年度 後期	選択	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。 また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
情報科学概論	長原 三輝雄	1	2025年度 前期	必修	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。 また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。

公衆衛生学	長原 三輝雄	3	2025年度 後期	必修	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
関係法規	長原 三輝雄	3	2025年度 後期	必修	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
システム工学Ⅲ	長原 三輝雄	4	2025年度 後期	選択	講義	1	医療情報システム業務に勤務した教員の立場から、事例を交えながら教示する。
情報処理工学	長原 三輝雄	3	2025年度 後期	選択	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
医療情報科学	長原 三輝雄	3	2025年度 前期	選択	講義	1	担当教員は臨床検査技師免許を有し、大学病院において30年以上の実務経験がある。また、第一種衛生管理者免許、上級医療情報技師、診療情報管理士、公認医療情報システム監査人補、医療経営士3級の認定資格を有している。
応用数学	中山 謙二	1	2025年度 後期	必修	演習	1	科目担当者は通信機メーカーである日本電気(株)(NEC)で16年にわたり、通信機器や人工知能(AI)の研究開発に従事した。ここでは、統計的な信号解析、雑音解析とその低減法、非線形システムの解析と設計、コンピュータによる学習(AI)などの技術が必要とされ、その数学的な基礎として本講座で扱う応用数学が必要とされた。これらの経験を踏まえ、さらに、医療現場での要望も考慮した数学的素養が身につくように指導する。
医用電子工学	中山 謙二	3	2025年度 後期	選択	講義	1	科目担当者は通信機メーカーである日本電気(株)(NEC)で16年にわたり、通信機器の研究開発に従事した。ここでは、通信機で使用される電気回路や電子回路の研究・開発・設計に携わった。これらは医療機器で必要とされる電気工学、電子工学、計測工学に通じるものであり、これらの基礎を踏まえ、さらに、応用技術が身につくように指導する。
基礎ゼミナールⅠ	滝野 豊	1	2025年度 前期	必修	演習	1	臨床検査技師、臨床工学技士としての実務経験のある教員が、医療従事者としての患者さんや多職種との関わり方について指導・教育する。
基礎ゼミナールⅡ	滝野 豊	1	2025年度 後期	必修	演習	1	臨床検査技師、臨床工学技士の実務経験のある教員が、医療従事者としての患者さんや多職種との関わり方について指導・教育する。
生化学検査学Ⅰ	滝野 豊	2	2025年度 前期	必修	講義	1	臨床検査技師として業務に携わった経験を持つ教員が、検体の採取と取り扱い、検査法の原理と方法、生体内基準範囲、臨床的意義、検査データと病態について講義する。
精度管理と品質保証	滝野 豊	3	2025年度 後期	選択	講義	2	臨床検査技師として業務に携わった経験を持つ教員が、品質管理の手法やその重要性について講義する。
臨床検査管理学Ⅱ	滝野 豊	3	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床検査技師として業務に携わった経験を持つ教員が、臨床検査部門の役割などや、病院の検査室と衛生検査所の検査室の役割の違いについて講義する。
スポーツ	大日向 茂樹	1	2025年度 前期	選択	実技	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
看護学概論	多崎 恵子	3	2025年度 後期	選択	講義	1	看護の実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
医学概論	染矢 富士子	1	2025年度 前期	必修	講義	1	担当教員は医師としての実務経験が長く、様々な疾患についての診療経験があるため、広範囲にわたる医療分野について解説をする。
医用機器学概論	石野 直明	1	2025年度 後期	必修	講義	2	病院での実務経験を有した臨床工学技士教員が、医療機器の操作や管理を行う上で必要になる知識について、基礎から講義する。
電気磁気学	石野 直明	4	2025年度 後期	選択	講義	1	実務経験を有した臨床工学技士教員が、臨床工学技士業務に役立つ電気磁気学の知識について、臨床での実例を基に講義する。
医用治療機器学ⅠB	石野 直明	3	2025年度 前期	選択	講義	1	病院での実務経験を有した臨床工学技士教員が、医用治療機器の操作、管理、トラブル対応に必要な知識について、基礎から講義する。
医療安全管理学(臨床工学)	石野 直明	3	2025年度 前期	選択	講義	1	病院での実務経験を有した臨床工学技士教員が、臨床工学に関連する医療安全の概要、実例、対策について講義する。
生体機能代行装置学Ⅱ	石野 直明	3	2025年度 前期	選択	講義	2	病院での実務経験を有した臨床工学技士教員が、呼吸療法関連機器の原理、操作・管理方法、トラブル対応について、基礎から講義する。
生体機能計測学Ⅰ	石崎 一穂	2	2025年度 前期	必修	講義	2	総合病院で30年以上生理機能検査を実務経験した教員が、検査方法と検査結果の判読方法および対応方法に関して解説する。
生体機能計測学Ⅱ	石崎 一穂	2	2025年度 後期	必修	講義	2	総合病院で30年以上生理機能検査を実務経験した教員が、検査方法と検査結果の判読方法および対応方法に関して解説する。
生体機能計測学Ⅲ	石崎 一穂	3	2025年度 前期	必修	実習	2	総合病院で30年以上生理機能検査を実務経験した教員が、検査方法と検査結果の判読方法および対応方法に関して解説する。
臨床工学基礎演習	清水 芳行	2	2025年度 後期	選択	演習	1	医療機関において実務経験を有する臨床工学技士、臨床検査技師などが実践的な授業を展開する。
生体機能代行装置学概論	清水 芳行	1	2025年度 後期	必修	講義	1	臨床工学技士として、医療機関の手術室、集中治療室、救急室、血液浄化センター、心臓カテーテル室などにおいての業務経験を有する教員が、生体機能代行装置が医療の現場で実際にどのように使用され、その際に臨床工学技士がどのような役割を果たすのかについて、実例を挙げながら授業を展開する。

医用治療機器学ⅠA	清水 芳行	3	2025年度 前期	必修	講義	1	臨床工学技士として集中治療室に勤務した経験から、患者さんに寄り添うことが考えられる授業を展開する。
生体機能代行装置学Ⅲ	清水 芳行	3	2025年度 前期	選択	講義	2	臨床工学技士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
生体機能代行装置学Ⅳ	清水 芳行	3	2025年度 後期	選択	講義	2	臨床工学技士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
生体機能代行装置学実習Ⅲ	清水 芳行	4	2025年度 前期	選択	実習	1	臨床工学技士としての実務経験を有する教員が実習を担当する。
臨床支援技術学	清水 芳行	3	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床工学技士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
手術・集中治療学	清水 芳行	4	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床工学技士としての経験を有する教員が講義を担当する。
基礎生体計測学	清水 芳行	3	2025年度 後期	選択	講義	1	臨床工学技士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
技能修得到達度評価（臨床工学）	清水 芳行	3	2025年度 後期	選択	演習	1	臨床工学技士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
臨床工学演習	清水 芳行	4	2025年度 後期	必修	演習	1	臨床工学技士の業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
臨床免疫学	清水 慶久	2	2025年度 後期	必修	講義	1	実務経験のある教員が実際に臨床現場で遭遇した症例を提示するなどして、興味を引く内容を盛り込む。また、臨床免疫検査に不可欠な非特異反応の成因や確認法などについて解説する。
検査機器総論	清水 慶久	1	2025年度 後期	必修	演習	1	臨床検査ならびに臨床工学両業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
輸血・移植検査学Ⅰ	清水 慶久	2	2025年度 前期	必修	講義	2	実務経験のある教員が実際に臨床現場で遭遇した症例を提示するなどして、興味を引く内容を盛り込む。
医療安全管理学（臨床検査学）	清水 慶久	3	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床検査技師業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
輸血・移植検査学Ⅱ	清水 慶久	3	2025年度 前期	選択	講義	1	移植検査は臨床に直結することから、それぞれの検査が臨床にどのような形でかわっていくのか、現場での状況を例に挙げ説明することで、移植医療の理解がより深まるよう授業を進める。
臨床検査管理学Ⅰ	清水 慶久	3	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床検査技師業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
臨床心理学概論	水崎 優希	2	2025年度 後期	選択	講義	1	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験等を踏まえて学生に心理療法や事例等について解説する。
災害と医療	松村 隆弘	2	2025年度 前期	選択	講義	1	臨床検査技師として病院勤務経験があり、災害時のこころのケアや検査室支援を過去に経験している。また、赤十字救急指導員や災害ボランティアコーディネーターの資格を有し、石川県の学生等災害ボランティアリーダー育成事業の委員でもある。
臨床検査管理学Ⅲ	松村 隆弘	3	2025年度 後期	選択	講義	2	臨床検査技師業務に携わった経験を持つ教員が、検体の取り扱い方を講義し、理解を深めてもらう。
放射線検査学	小林 正和	2	2025年度 後期	必修	講義	1	診療放射線技師業務に携わった教員が、RIを用いた核医学検査を含む放射線検査に関する基本的知識を講義する。
基礎微生物学	小宮 智義	1	2025年度 前期	必修	講義	1	研究機関での微生物研究および臨床検査業務経験のある教員が、基礎から最新の動向までを講義する。
遺伝子・染色体検査学	小宮 智義	3	2025年度 後期	選択	講義	1	研究機関および病院検査室での臨床検査技師実務経験者が、実際に経験し扱った病原体等を示し基本知識の講義と、実習を行う。
臨床微生物学Ⅰ	小宮 智義	3	2025年度 前期	必修	講義	2	研究機関での微生物研究および臨床検査業務経験のある教員が、基礎から最新の動向までを講義する。
臨床微生物学Ⅱ	小宮 智義	3	2025年度 後期	必修	講義	2	研究機関での微生物研究および臨床検査業務経験のある教員が、基礎から最新の動向までを講義する。
医学英語	佐藤 妃映	2	2025年度 後期	必修	演習	1	臨床検査技師の業務と研究に携わった経験を持つ教員が、医学英語について講義する。
病理学	佐藤 妃映	2	2025年度 前期	必修	講義	1	医療機関で臨床検査技師・細胞検査士業務に携わった経験を持つ教員が、病理学に関する基本的知識について講義する。
病理検査学総論	佐藤 妃映	2	2025年度 後期	必修	講義	1	臨床検査技師・細胞検査士業務に携わった経験を持つ教員が、病理学的検査に関する基本的知識と技術について講義する。
病理検査学Ⅰ	佐藤 妃映	3	2025年度 前期	選択	講義	1	医療機関で臨床検査技師・細胞検査士業務に携わった経験を持つ教員が、病理学的検査に関する基本的知識と技術について講義する。
病理検査学Ⅱ	佐藤 妃映	3	2025年度 後期	選択	講義	1	医療機関で臨床検査技師・細胞検査士業務に携わった経験を持つ教員が、細胞学的検査に関する基本的知識と技術について講義する。
医用機器安全管理学Ⅱ	五十嵐 茂幸	4	2025年度 後期	選択	講義	1	臨床工学技士として医療機器管理業務に勤務した経験及び認定資格を有する立場から、安全管理システムを事例を交えながら教示する。

画像解析学	宮地 利明	3	2025年度 後期	選択	講義	1	長く臨地において画像検査業務に携わった教員が具体例を交えながら臨床実践的な講義を行う。
リハビリテーション学概論	宮原 謙一郎	2	2025年度 前期	選択	演習	1	理学療法士として種々の障害のある幅広い年齢層の患者へのリハビリテーション経験のある教員が、その経験を活かし、リハビリテーションの理念や種類、多職種による関わりについて教授する。
					合計	105	

2025年度医療保健学部理学療法学科「実務経験のある教員による授業科目」

科目名	教員氏名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
小児科学	井幕 充彦	2	2025年度後期	必修	講義	2	小児科診療に携わった小児科専門医資格を持つ教員が、小児の成長・発達、及び小児特有の疾患を中心に様々な疾患について基本的知識を講義する。
神経内科学	吉川 弘明	2	2025年度前期	必修	講義	2	神経内科専門医として診療に携わる教員が、実地経験を踏まえて講義する。
理学療法評価学演習Ⅱ	宮原 謙一郎	3	2025年度前期	必修	演習	1	理学療法士としての実務経験のある教員が実務経験を活かし、各種検査・測定や動作の評価について講義する。
物理療法学	宮原 謙一郎	2	2025年度前期	必修	講義	2	理学療法業務に携わった経験を持つ教員が、基本的な理学療法手段の1つである物理療法について講義する。
基礎理学療法学	宮地 諒	1	2025年度後期	必修	講義	2	理学療法士としての実務経験のある教員が実務経験を活かし、解剖学・評価学・治療学的視点から基礎理学療法学について講義する
理学療法評価学演習Ⅰ	宮地 諒	2	2025年度後期	必修	講義	1	理学療法士としての実務経験のある教員が実務経験を活かし、解剖学・運動学・生理学・理学療法治療学的などの視点から理学療法評価について講義する
解剖学Ⅰ	金澤 佑治	1	2025年度前期	必修	講義	2	肉眼解剖に携わった経験を持つ教員が、骨格、関節と靭帯、骨格筋に関する知識を講義する。
医療安全管理学	原田 哲也	2	2025年度前期	必修	講義	1	病院の事務局長、理事として医療安全管理に携わった経験のある教員が、医療安全管理に関する基本的な考え方から実践段階まで、体系的に知識を整理し、多職種にわたっての医療安全管理に関する考え方を教授することで、理学療法士としての実践に役立つ授業を行う。
救急処置法	五十嵐 茂幸	3	2025年度後期	必修	講義	1	臨床工学士、看護師として医療機器管理業務に勤務した経験及び認定資格を有する立場から、安全管理システムを事例を交えながら教示する。
臨床薬学	高野 克彦	3	2025年度後期	選択	講義・演習	1	担当：高野克彦（病院薬剤師としての経験を有する） 臨床薬学に関する授業を実施する。
老年期障害理学療法学演習	合田 明生	2	2025年度後期	必修	演習	1	理学療法士の教員がその経験を活かし、高齢者の疾患・病態の概要、評価、治療法、および健康増進や機能低下予防について演習を行う。
予防理学療法学	合田 明生	3	2025年度前期	選択	講義	2	理学療法士の教員がその経験を活かし、各世代（子ども、中年、高齢者）における予防理学療法の実践的なアプローチを指導する。
地域理学療法学	合田 明生	3	2025年度前期	必修	講義	2	●実務経験のある教員による授業科目 理学療法士の教員が実務経験を活かし、地域理学療法制度、介護保険、住環境整備、対人援助技術などの実践的知識と技術を指導する。
地域理学療法学演習	合田 明生	3	2025年度後期	選択	演習	1	理学療法士の教員が実務経験を活かし、訪問・通所リハなどの直接・間接的介入や、病院との違い、地域における理学療法士の役割を事例とともに指導する。
義肢装具学	山田 大樹	2	2025年度前期	必修	講義	2	義肢装具士の教員が、医師による義肢・装具の処方から適合までの流れに関する基本的知識を講義する。
臨床心理学	水崎 優希	3	2025年度前期	選択	講義	2	臨床心理士・公認心理師として精神科クリニックや大学での学生相談に従事した経験等を踏まえて学生に心理療法や事例等について解説する。
医療統計学	清水 慶久	3	2025年度後期	必修	講義	1	臨床業務に携わった経験を持つ教員が、基礎的な段階から臨床的な段階まで体系的に知識・技能を整理し、実践に役立つための授業を行う。
免疫・感染症学	清水 慶久	3	2025年度前期	選択	講義	2	実務経験のある教員が実際に臨床現場で遭遇した症例を提示するなどして、興味を引く内容を盛り込む。また、理学療法士における感染症対策について解説する。
医用情報科学概論	清水 芳行	2	2025年度前期	選択	講義	2	臨床工学士としての業務経験を有する教員が、実例を挙げながら授業を展開する。
日常生活活動学演習	西村 卓朗	2	2025年度前期	必修	演習	1	理学療法士としての実務経験のある教員が実務経験を活かし、解剖学・運動学・評価学・治療学的視点から日常生活活動学について講義する。
解剖学Ⅱ	染矢 富士子	1	2025年度前期	必修	講義	2	医師として神経系、呼吸循環器系、消化器系、泌尿系、内分泌系疾患の診療経験があり、臨床上重要な解剖学的構造を解説する。
人間発達学	染矢 富士子	1	2025年度後期	必修	講義	2	医師としてリハビリテーション科医、身体障害児施設での診療経験があり、ライフサイクルの長期にわたる身体的、心理的発達について経験をいかして教示する。
リハビリテーション医学	染矢 富士子	1	2025年度後期	必修	講義	2	医師として神経系、呼吸循環器系、消化器系、泌尿系、内分泌系疾患の診療経験があり、臨床上重要な、広範囲にわたるリハビリテーション対象疾患について解説する。
整形外科学	染矢 富士子	2	2025年度前期	必修	講義	2	担当教員は医師としての実務経験があり、整形外科認定医、リハビリテーション科専門医として勤務していた。整形外科学分野での診断、治療について経験をいかして教示する。
疾病予防と健康増進	染矢 富士子	3	2025年度前期	選択	講義	1	担当教員は医師としての実務経験があり、リハビリテーション科専門医として勤務していた。当該分野での診断、治療について経験をいかして教示する。
運動学	大工谷 新一	1	2025年度後期	必修	講義	2	理学療法士、アスレティックトレーナーとして、種々の障害のある幅広い年齢層の患者へのリハビリテーション、および生涯スポーツ、競技スポーツにおける外傷予防、コンディショニングへの対応の経験のある教員が、その経験を活かし、運動に関連する神経筋機能や人間のパフォーマンスについて講義する。
リハビリテーション概論	大工谷 新一	1	2025年度前期	必修	講義	2	理学療法士として種々の障害のある幅広い年齢層の患者へのリハビリテーション経験のある教員が、その経験を活かし、リハビリテーションの理念や種類、障害像や生活機能について教授する。また、多職種によるリハビリテーションへの関わりについても教授する。
理学療法学概論	大工谷 新一	1	2025年度前期	必修	講義	2	理学療法士として30年以上の実務経験のある教員が、理学療法士が社会から求められる基本的な資質・能力、理学療法士の使命や役割、責務について、種々の領域での実例や最新のトピックスをもとに教授する。
運動療法学	大工谷 新一	1	2025年度後期	必修	講義	2	理学療法士として、種々の障害のある幅広い年齢層の患者への理学療法経験のある教員が、その経験を活かし、基本的な運動療法の種類と手法、期待される効果について実例をもとに教授する。
運動器障害理学療法学	大工谷 新一	2	2025年度後期	必修	講義	2	理学療法士として一般病院での従事経験のある教員が、その経験を活かし、運動器障害、整形外科疾患に対する運動療法について教授する。
先進技術と理学療法学	大工谷 新一	3	2025年度前期	選択	講義	2	理学療法士としてロボットや遠隔サービスに関する研究と実践、およびセンサーやAIを用いた実践研究の経験を有する教員が、その経験を活かし、先進的な技術と理学療法との関連等について教授する。
アスレチックリハビリテーション概論	大工谷 新一	1	2025年度後期	必修	講義	2	アスレティックトレーナー、理学療法士として、多くのスポーツ選手に対して外傷・障害後の競技復帰までのリハビリテーションや外傷・障害予防、チームへの帯同経験のある教員が、競技種目別の対応や予防、用具、ドーピング対応等の様々な知識、技能を教授する。
スポーツ障害理学療法学	大工谷 新一	2	2025年度後期	選択	講義	2	アスレティックトレーナー、理学療法士として、多くのスポーツ選手に対して外傷・障害後の競技復帰までのリハビリテーションや外傷・障害予防、チームへの帯同経験のある教員が、スポーツ外傷・障害に対する理学療法の様々な知識、技能を教授する。

スポーツⅠ	大日向 茂樹	1	2025年度 前期	選択	実技	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
スポーツⅡ	大日向 茂樹	1	2025年度 後期	選択	実技	1	担当教員は、高等学校保健体育科教諭での経験を基に、経験に裏付けられた実務的な教授も併せて行う。
義肢装具学演習	大畑 光司	2	2025年度 後期	必修	演習	1	義肢装具士と装具制作経験を持つ理学療法士がその経験を生かして担当する。
神経障害理学療法学	大畑 光司	2	2025年度 後期	必修	講義	2	理学療法士として神経疾患患者へのリハビリテーション経験のある教員が、その経験を活かし、神経理学療法学について教授する。
発達障害理学療法学演習	大畑 光司	3	2025年度 前期	必修	演習	1	人間発達学、小児科学、理学療法評価学実習Ⅰ、理学療法評価学実習Ⅱ、理学療法評価学演習Ⅱ、臨床評価実習
総合理学療法学演習Ⅰ	大畑 光司	3	2025年度 後期	必修	演習	1	理学療法士としての実務経験のある教員が実務経験を活かし、理学療法評価学・治療学的視点から解説する。
精神医学	二ノ倉 欣久	2	2025年度 後期	必修	講義	2	実務の経験を有する教員が講義ごとに重要な項目について実務の実際における具体的事例やエピソードを紹介しつつ、講義で学ぶ項目と対応させた講義が行われる。
北陸の文化と社会	福江 充	2	2025年度 前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充	1	2025年度 後期	選択	講義	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
理学療法評価学	野口 雅弘	1	2025年度 後期	必修	講義	2	理学療法士免許を持つ教員が、実務での事例を交えて理学療法評価の基礎的知識や各種検査方法について講義する。
内部障害理学療法学	野口 雅弘	2	2025年度 後期	必修	講義	2	理学療法士免許を持つ教員が、実務経験を交えて、内部疾患の病態や理学療法評価、治療方法について講義する。
チーム医療論	油野 友二	3	2025年度 後期	必修	演習	1	診療機関での実務経験を持つ教員が臨床での事例や場面を交え授業を行う。
東洋医学	劉 園英	1	2025年度 後期	選択	講義	2	東洋医学における漢方の考え方・適応症などについて、講師は病院臨床経験があるので、現状を踏まえて説明する。
東洋医学治療学	劉 園英	2	2025年度 後期	選択	講義	2	東洋医学における疾病の治療法などについて、講師は病院臨床経験があるので、現状を踏まえて説明する。
				合計		78	